

2 福祉心理士

■福祉心理士とは

日本福祉心理学会が認定する資格であり、「福祉サービスを利用する人のアセスメントを行ったり、サービス利用者やその家族、そして、そこで働く職員の福祉心理相談・支援を行ったりするうえで専門家として求められる基礎学力と技能を修得している」と、日本福祉心理学会が認定した方のことです。

■資格取得方法

認定の際、日本福祉心理学会が行う筆記試験が実施される予定で審査料20,000円、認定料10,000円も必要です。また、日本福祉心理学会員となり5年ごとに資格更新のための審査を受ける必要があります。

■申請の条件と類型

大学で取得する際は【A類型】で指定科目を履修する方法が一般的です。その他の取得方法については、日本福祉心理学会のホームページをご参照ください。

【A類型】大学で指定科目を下表の履修方法に従って合計32単位以上を修得し、卒業（社会福祉学科でも福祉心理学科でも可）した方。もし、指定科目の一部が未履修の場合、科目等履修生としての単位修得も可です。

【福祉心理士資格に関する科目】（科目名太字は福祉心理学科卒業のための必修科目）

領域	指定科目名	本学の科目名	配当年次	科目単位	履修方法	履修方法 (合計32単位以上修得)
基礎科目	心理学	心理学概論A	1年以上	2	R or SR	合計6単位以上を単位修得のこと
		心理学概論B	1年以上	2	R or SR	
	福祉心理学	福祉心理学	1年以上	2	R or SR	
	社会福祉学	社会福祉原論A	2年以上	2	R or SR	
		社会福祉原論B	2年以上	2	R or SR	
心理学関係科目	臨床心理学	臨床心理学概論Ⅰ	2年以上	2	R or SR	4科目以上履修し、合計12単位以上を単位修得のこと
	心理査定法	心理的アセスメントⅠ	2年以上	2	R or SR	
	カウンセリング (心理相談)	カウンセリングⅠ	1年以上	1	S	
		カウンセリングⅡ	1年以上	1	S	
	心理療法	心理学的支援法Ⅰ	2年以上	2	R or SR	
		心理学的支援法Ⅱ	2年以上	2	R or SR	
	発達心理	発達心理学	2年以上	2	R or SR	
	障害者の心理	障害者・障害児心理学	2年以上	2	R or SR	
社会福祉学関係科目	相談援助	老年心理学A	1年以上	2	R or SR	「相談援助」1科目必修、合計12単位以上を単位修得のこと
		老年心理学B	1年以上	2	R or SR	
	社会福祉学関係	ソーシャルワークの基盤と専門職	2年以上	2	R or SR	
		児童・家庭福祉	1年以上	2	R or SR	
		高齢者福祉	1年以上	2	R or SR	
		障害者福祉	1年以上	2	R or SR	
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2年以上	2	R or SR	
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2年以上	2	R or SR	
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ	2年以上	2	R or SR	
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ	2年以上	2	R or SR	
		ソーシャルワークの理論と方法（精神専門）Ⅰ	3年以上	2	R or SR	
		ソーシャルワークの理論と方法（精神専門）Ⅱ	3年以上	2	R or SR	
医療・保健関係科目	精神医学	地域福祉と包括的支援体制A	2年以上	2	R or SR	履修する必要はないが、履修した場合の扱いは*参照
		地域福祉と包括的支援体制B	2年以上	2	R or SR	
		精神医学と精神医療Ⅰ	3年以上	2	R or SR	
		精神医学と精神医療Ⅱ	3年以上	2	R	
		精神疾患とその治療Ⅰ	3年以上	2	R or SR	
		精神疾患とその治療Ⅱ	3年以上	2	R	
	リハビリテーション学	リハビリテーション論	2年以上	2	R or SR	
	精神保健学	現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	2年以上	2	R or SR	
		現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	2年以上	2	R	

*心理学関係科目のうち2科目4単位、および社会福祉関係科目のうち2科目4単位の計4科目8単位については、医療・保健関係科目（精神医学、リハビリテーション学、精神保健学）をもって代替できる。